

那覇港だより

な は みなと

令和2年（2020年） 月 第20号

目 次

1. ガントリークレーン1号機撤去解体工事について・・・・・・・・・・ 1

ガントリークレーン1号機撤去解体工事について

ガントリークレーン1号機撤去解体工事を完了しましたので紹介します。

1. 撤去までの経緯



供用開始日	平成11年4月1日
高さ	58.7m
幅	28.0m
重量	780 t
対応列	13列5段

当該ガントリークレーン1号機は、沖縄県初のガントリークレーンとして、平成11年4月1日の供用開始より約20年間、沖縄県の外貿コンテナ貨物の荷役に大きく貢献してきましたが、老朽化に伴い撤去解体工事を行うこととなりました。

工事発注にあたり、撤去解体工法の選定等をめぐり那覇港管理組合議会において活発な議論がおこなわれたことと、県内では初の撤去解体工事であることより、報道関係者等からも注目される工事となりました。

その後、通算3回の議会を経て、予算が承認され令和元年11月27日付けで工事契約の締結を行いました。

工事期間中においては、悪天候による工程への影響が多少はありましたが、大きな問題を生じることなく無事に撤去解体工事を完了させることができました。

2. 工事概要

- ・所在地：那覇港新港ふ頭地区 那覇公共国際コンテナターミナル内
- ・受注業者：株式会社三井E&Sマシナリー
- ・請負金額：¥255,750,000-
- ・工期：令和元年11月28日～令和2年5月29日
- ・撤去工法：特殊台船「天佑」によるフォークオン・リフトオフ工法
(日本に1台しかない特殊台船「天佑」を用いての撤去作業)
- ・解体工法：2,200 t吊級起重機船「駿河」による上下二分割作業等
- ・解体場所：広島県呉港

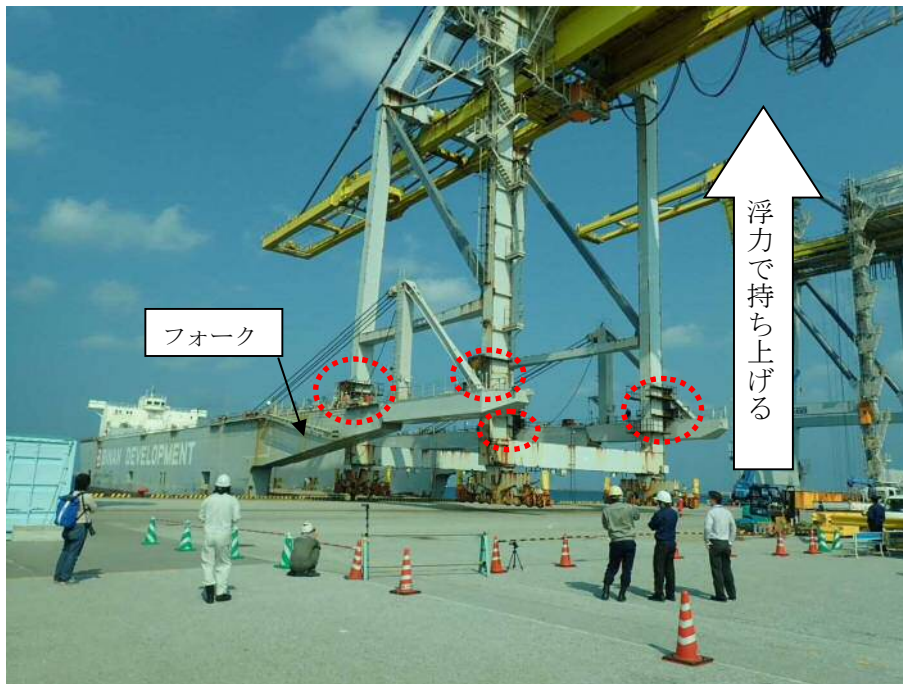
3. 撤去作業（那覇港新港ふ頭）

令和2年3月 フォーク台船「天佑」による撤去作業を行いました。

3-1 縦付け係船：台船を岸壁に対して鉛直方向に係船を行う。



3-2 フォークオン：台船のフォークでレールからクレーンを持ち上げる。



3-3 特殊台船「天佑」に搬入完了



3-4 出港お見送り



～ 1号機 20年間おつかれさまでした～

4. 解体作業（広島県呉港）

令和2年4月に2,200t吊級起重機船「駿河」による解体作業を行いました。

4-1 2,200t吊級起重機船「駿河」を用い上部と下部に二分割（大バラシ解体）



4-2 下部吊り上げ、解体ヤードへ輸送



4-3 解体ヤードにて（小バラシ解体）



～ 解体完了 ～

那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先

那覇港管理組合総務部総務課

〒900-0035 那覇市通堂町2番1号（那覇ふ頭船客待合所3階）

TEL:098-868-2578 FAX:098-868-2629

e-mail: kumiai@nahaport.jp